

**第6回
国分寺街道及び
国 3・4・11号線周辺
まちづくり協議会**

平成30年7月11日

国分寺市まちづくり部まちづくり推進課

次第

1. 開会

2. 報告事項

- (1) 中間報告会（第3回まちづくり懇談会）について
- (2) 第4回まちづくり懇談会について

3. 検討事項

- (1) 平成30年度のスケジュールについて
- (2) 国分寺街道周辺エリアのまちのにぎわいの創出
 - ・ 検討テーマ／事例紹介
 - ・ グループ検討
 - ・ グループ発表

4. 閉会

2. 報告事項 (1)中間報告会 (第3回まちづくり懇談会) について

日 時：平成30年4月13日 (金) 午後7時00分～8時30分

場 所：リオンホール (cocobunji WEST 5 階)

出席者：41名

- 昨年度の検討成果をまとめた**中間報告書**を基に、**地区内の3つのエリアのまちづくり方針**を報告。

※参考資料2-1中間報告書，参考資料2-2中間報告会議事録を参照



2. 報告事項 (2)第4回まちづくり懇談会の報告について

日時：平成30年6月17日（日）午後2時00分～4時00分

場所：カフェといろいろびより

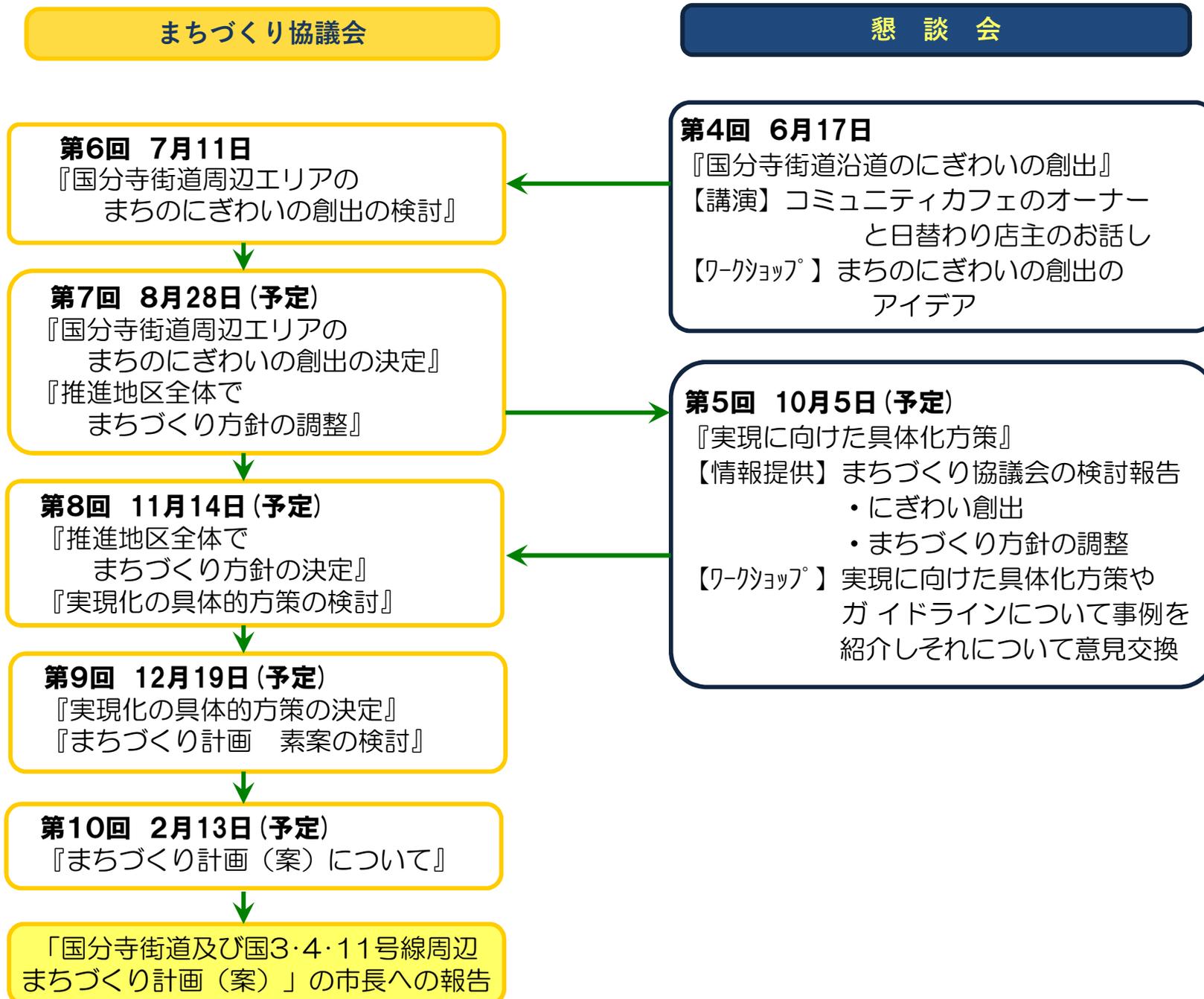
出席者：17名

- 講師（NPO法人ツナグバツクリ代表理事 鎌田菜穂子さん，日替わり店主・養生カフェあいさん）による講演。
- 3つのグループに分かれて，「**国分寺街道沿道のにぎわいの創出**」について意見交換。

※参考資料3-1懇談会配布資料，参考資料3-2懇談会議事録を参照



3. 検討事項 (1) 平成30年度のスケジュールについて



○本日の検討テーマ

1. **国分寺街道にふさわしいにぎわい**
2. **にぎわいを創出するための取組**

○本日の検討の進め方

- ① にぎわい創出の事例を確認。
- ② 第4回懇談会, これまでの協議会で出た意見を確認。
- ③ ①, ②を参考に, 検討テーマ毎にグループ検討。
- ④ グループ発表

3. 検討事項 (2) 国分寺街道周辺エリアのまちのにぎわいの創出

事例の紹介 国道を約700mに渡って歩行者天国に

① 「ばんどうホコテン」

【茨城県坂東市】

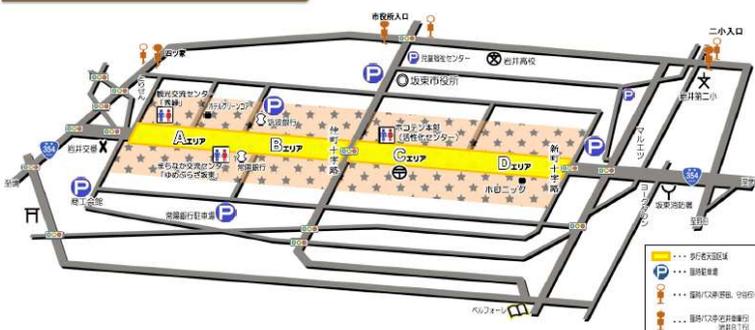
- 「商店街前道路を自由な発想で様々な活用を！」というコンセプトを元に、市のイベントの一つとして平成22年5月に第1回目を開催。
- 岩井商店街を会場に、毎月第4土曜日の午後に、国道354号で開催。
- 毎回テーマを設け季節感のあるイベントをメインに、郷土芸能、子供たちの舞祭り、よさこい等のダンスの披露、チョークで道路に落書きできるコーナー、地元名産品特産品の食のテント村等がある。

<ポイント>

- 道路を活用してイベント実施
- 学生の発表の場、子どもの遊び場、商店のPR等になり、ファミリーで楽しめる



歩行者天国区域 及び 駐車場案内図



3. 検討事項 (2) 国分寺街道周辺エリアのまちのにぎわいの創出

事例の紹介 完全民間出資の「まちづくり会社」

②立川にFUNとFANをふやそう！「株式会社まちづくり立川」【立川市】

- 立川南口まちづくり協議会の有志メンバーがまちづくり会社「まちづくり立川」を設立し、地元野菜直売店「地元農家のとれたて野菜のーかる」を開設。
- 「のーかる」を代表とする事業である「地域経済活性化」、事務代行、公告PR代行、共同購入組織の運営を行う「商店街支援」、シェアスクール運営、子育て支援、高齢者支援を行う「街の魅力創造」、行政との連携、公益事業者との連携を行う「公共事業の連携・サポート」の4つの柱で事業を行っている。
- 2018年2月には、都内最大級のファブスペース（アナログ・デジタル工作機器が利用可能な施設）「ツクール」を開設。ものづくり型創業支援を行っている。

<ポイント>

- 完全民間出資で運営
- 事業化支援・創業支援で、立川を盛り上げる
- 「のーかる」は空き店舗の活用



3. 検討事項 (2) 国分寺街道周辺エリアのまちのにぎわいの創出

事例の紹介 大学の研究室と連携した特産品の開発

③ 「追浜こみゆに亭&ワイナリー」

【追浜商盛会（神奈川県横須賀市）, 関東学院大学】

- 関東学院大学の教授から授業の一環として、まちのなかに教室を開きたいとの申し入れがあり、「まちなか研究所」を開設。
- 学生の発案で、横須賀沖で取れる海洋深層水を活用したワインを開発。
- ワインの収益を空き店舗の賃貸料に。また、サポーターを募り、ワイナリーの設備費に充てている。
- 様々な研究室や観光ボランティアなどの育成講座、まちづくり起業ゼミやまちづくり担い手講座などを開講。学生に限らず、定年後のサラリーマンの知恵を活かす場所ともなっている。

<ポイント>

- 大学との連携
- 地元資源を使った特産品の開発
- 空き店舗の活用



3. 検討事項 (2) 国分寺街道周辺エリアのまちのにぎわいの創出

事例の紹介 大学生が商店街でマーケティングを学ぶ

④ 「戸越銀座コロッケ」 コロッケによるまちづくり 【戸越銀座商店街（品川区）,立正大学】

- 「机上だけでなく実践活動を通じてマーケティングを学ぶ」という教授の方針により戸越銀座商店街でのコロッケによるまちづくりを実施（商圈調査や歩行者通行量調査, 「コロッケのまち」の計画作り, マップ作成, イベント実施, PR 活動）。
- 下町情緒あふれる商店街としてメディア等からの注目度が非常に高く, B級グルメや下町グルメの流行の波に乗った「戸越銀座コロッケ」プロモーションを契機として, 「食べ歩き」の街, 「下町グルメロケの聖地」などと呼ばれ, 雑誌やテレビで数多く取り上げられるようになり, 全国的にも知名度が高くなった。

<ポイント>

- 大学と商店街が連携
- 学生が実践で学べる
- 商店街の知名度が向上



戸越銀座コロッケ
食べ歩きマップ



3. 検討事項 (2) 国分寺街道周辺エリアのまちのにぎわいの創出

事例の紹介 ワークスペースなどを備えた市民の起業拠点

⑤ 「PlanT (プラント) 日野市多摩平の森産業連携センター」【日野市】

- 市民や企業が集まり交流を通じて新産業を生み出すクリエイティブなイノベーション拠点を開設。
- 創業相談, 創業セミナー, 創業スクールなど「創業支援」, ビジネス・ブートキャンプ, エンジニアカフェ, 次世代リーダー塾など「ビジネス人材育成プログラム」, 3Dプリンター活用教室, プログラム教室など「ものづくり体験教室」, その他, オープンデータを活用した取り組み, ロボットプロジェクトなど。
- 創業者のための各種支援や創業セミナー・プログラムの運営で実績のある多摩信用金庫が市と連携して創業者のための各種コンテンツ運営。

<ポイント>

➤ 産学官金が連携して, 創業者を支援



3. 検討事項 (2) 国分寺街道周辺エリアのまちのにぎわいの創出

事例の紹介 村山団地中央商店街の送迎自転車サービス

⑥ 「まいど～宅配センター“おかねづかステーション”」 【武蔵村山市】

- 村山団地では、高齢化が進み買い物頻度が減少した。そこで村山団地中央商店街は「宅配サービス」を有志で始めた。しかし、高齢者は、商店街で品物を見ながら買い物をしたり、お店でおしゃべりをしたり、街で知り合いと出会ったりしたいと希望していることがわかった。
- そこで、三輪の「送迎自転車」運行システムを導入。空き店舗を安く借りて「宅配のステーション」を確保、送迎希望の方の待合所と送迎依頼電話受付の拠点にし、運行終了後は自転車の車庫になるようにした。
- 「送迎自転車」の運転手はボランティアと商店主が担当。お客がいないときは団地内を縦横無尽に流しながら、歩いている人に声をかけ、必要に応じて利用してもらう。

<ポイント>

- 費用をかけずに高齢者の移動手段を確保
- 空き店舗に拠点
- 事業を通じて見守りも実施



3. 検討事項 (2) 国分寺街道周辺エリアのまちのにぎわいの創出

事例の紹介 商店街のブランド化と学生の活力を地域の活性化に

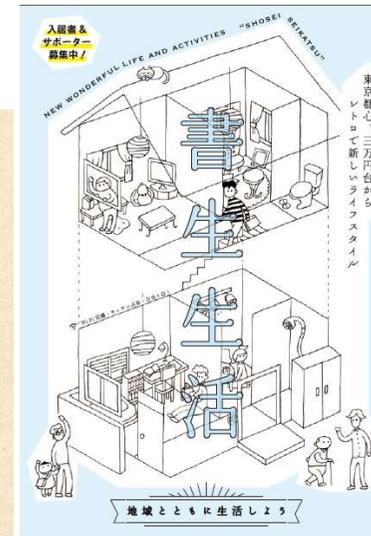
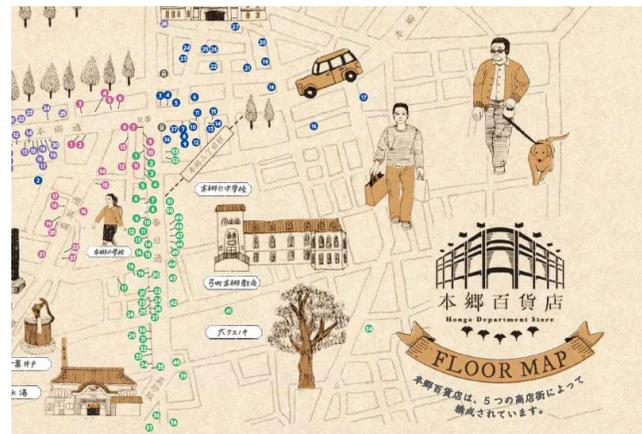
⑦本郷百貨店「書生生活」

【本郷商店街 文京区】

- 「本郷百貨店」としてオリジナルカタログ、手提げ袋、包装紙、シール等を作成し、ブランドの統一化を図っている。
- 「書生生活」は、地域活動への参加を条件に、家賃を減免して地域のアパートへ大学生に住んでもらうプロジェクト。
- 平成23年よりスタートし、大学生から大学院生まで、10名の書生が誕生している。
- 書生生活事業のほか、ひとつ屋根の下事業（下宿）もある。

<ポイント>

- 商店街のブランディング
- 学生の地域参加
- 空き室の活用



第7回協議会

日時 平成30年8月28日 (火)

午前10時～正午

会場 リオンホール (cocobunji WEST 5階)